

# 令和5年度事業報告書

社会福祉法人 松野町社会福祉協議会

社会福祉事業

## 目次

1 法人運営事業.....	- 1 -
2 地域福祉推進事業 .....	- 5 -
2-1 地域福祉推進事業.....	- 5 -
2-2 福祉相談・援助活動の推進.....	- 8 -
2-3 共同募金運動等の推進.....	- 10 -
2-4 福祉団体事務.....	- 11 -
2-5 訪問型サービス事業 .....	- 13 -
3 在宅福祉サービス事業 .....	- 14 -
3-1 居宅介護支援事業.....	- 14 -
4 まごころ銀行運営事業 .....	- 16 -

## 1 法人運営事業 (総事業費 20,052,894 円)

(1) 本会の支援基盤及び財政基盤を強化し健全な運営を図るため、会員の募集を行った。

会員募集結果	一般会員	1,024,000 円	(1,024 件)
	特別会員	45,000 円	(15 件)
	合計	1,069,000 円	

(2) 理事会、評議員会の開催

ア 理事会 (3 回)

第 1 回 令和 5 年 6 月 5 日 出席者 理事 11 名 監事 1 名

(報告) 評議員の選任結果について

会長の職務執行状況について

評議員補欠候補者の推薦について

任期満了に伴う、理事、監事候補者の推薦について

役員等の報酬等及び費用弁償に関する規程の改正について

松野町社会福祉協議会積立金規程の改正について

松野町まごころ銀行運営管理規程の改正について

まごころ銀行助成金交付要領の改正について

まごころ銀行結婚・出産祝金助成要綱の制定について

職員資格取得助成要綱の制定について

令和 4 年度事業報告の承認について

令和 4 年度決算の承認について

令和 5 年度資金収支第 1 次補正予算 (案) について

評議員会の開催予定について

まごころ銀行助成金交付に係る審査について

その他 次回理事会の開催予告

第 2 回 令和 5 年 6 月 20 日 出席者 理事 9 名 監事 2 名

(報告) 評議員の選任結果について

任期満了に伴う、理事、監事の選任結果について

会長・副会長の選任について

評議員選任・解任委員の選任について

評議員選任・解任委員会運営規程の改正について

その他 評議員・役員選任規程の改正検討について

第 3 回 令和 6 年 3 月 8 日 出席者 理事 10 名 監事 2 名

(報告) 会長の職務執行状況について

評議員補欠選任候補者の推薦について

令和 5 年度資金収支第 2 次補正予算 (案) について

職員賃金規程の改正について

令和 6 年度事業計画（案）について  
令和 6 年度資金収支予算（案）について  
役員等賠償補償保険の加入について  
評議員・役員選任規程検討委員会の設置と委員の選任について  
評議員会の開催予定について  
その他 令和 6 年度まごころ銀行助成事業の公募開始について

イ 評議員会（2回）

第 1 回 令和 5 年 6 月 20 日 出席者 評議員 17 名 欠席 8 名  
（報告）評議員の補欠選任結果について  
まごころ銀行の今後の活用について  
任期満了に伴う、理事・監事の選任について  
役員等の報酬等及び費用弁償に関する規程の改正について  
令和 4 年度事業報告の承認について  
令和 4 年度決算の承認について  
令和 5 年度第資金収支 1 次補正予算（案）の承認について  
その他 評議員・役員選任規程の改正検討について

第 2 回 令和 6 年 3 月 22 日 出席者 評議員 21 名 欠席 4 名  
（報告）評議員の補欠選任結果について  
令和 5 年度資金収支第 2 次補正予算（案）の承認について  
令和 6 年度事業計画（案）の承認について  
令和 6 年度資金収支予算（案）の承認について  
評議員・役員選任規程検討委員会の設置と委員の選任について  
その他 令和 6 年度まごころ銀行助成事業の公募開始について

(3) 評議員選任・解任委員会の開催（2回）

評議員選任・解任委員会

第 1 回 令和 5 年 6 月 7 日 出席者 委員 4 名 会長、事務局 2 名  
評議員の補欠選任について  
その他

第 2 回 令和 6 年 3 月 18 日 出席者 委員 5 名 会長、事務局 2 名  
評議員の補欠選任について  
その他

(4) 監査の実施状況

令和 5 年 5 月 16 日 （令和 4 年度監査）監事 2 名、会長、職員 2 名  
令和 5 年 5 月 22 日 （監査講評）監事 2 名、会長、副会長、職員 2 名

(5) 労務管理・職員数の状況

法人全体					単位:人
区分	正規職員	嘱託	臨時	パート	合計
令和5年4月1日	9	1	0	5	15
令和6年3月31日	9	1	0	5	15
増減	0	0	0	0	0

法人運営・地域福祉推進事業					単位:人
区分	正規職員	嘱託	臨時	パート	合計
令和5年4月1日	5	0	0	5	10
令和6年3月31日	5	0	0	5	10
増減	0	0	0	0	0

在宅福祉サービス事業					単位:人
区分	正規職員	嘱託	臨時	パート	合計
令和5年4月1日	4	1	0	0	5
令和6年3月31日	4	1	0	0	5
増減	0	0	0	0	0

(6) 社協内部部門間、近隣社協との連携強化

ア 幹部職員会：12回

イ 職員研修会：BCP、虐待防止など

ウ 宇和島広域1市3町（宇和島、鬼北、愛南、松野）社協意見交換会：1回

エ 3社協連携研修（砥部、愛南、松野）：4回

(7) 各種大会の開催

ア 松野町敬老式の開催 令和5年9月15日（金）開催

今年度は4年ぶりに松野町及び松野町中央公民館との三者共催による松野町敬老式を開催した。

長寿の祝い歳の方々（数え77歳、80歳、88歳、90歳、99歳、100歳）に、記念品を贈呈する式典形式で開催し、長寿を祝う下記内容の式典を行った。

なお、式典に参加出来なかった方への記念品は、運送業者によりお届けとなった。

主要内容 開催費用：1,582,174 円

式典

オープニングショー 保育園児  
 記念品贈呈 祝い歳の高齢者  
 児童作文発表 各小学校児童代表  
 アトラクション 笑福亭鶴笑独演会（落語）

祝い歳該当者内訳

単位：人

祝い歳	生まれ年	合計
喜寿(数え77歳)	昭和22年生まれ	84
傘寿(数え80歳)	昭和19年生まれ	59
米寿(数え88歳)	昭和11年生まれ	46
卒寿(数え90歳)	昭和9年生まれ	37
白寿(数え99歳)	大正14年生れ	9
百賀(数え100歳)	大正13年生れ	4
合 計		239

年度	令和5年度			令和元年度			平成30年度			平成29年度		
	該当者	申込者	当日参加者	該当者	申込者	当日参加者	該当者	申込者	当日参加者	該当者	申込者	当日参加者
喜寿	84	17	16	63	14	14	53	21	22	62	25	26
傘寿	60	19	18	50	17	16	46	16	13	49	19	21
米寿	46	11	11	51	13	13	46	15	13	47	14	17
卒寿	37	4	4	41	11	10	49	8	6	27	4	4
白寿	9	1	1	6	1	1	2	0	0	9	5	5
百賀	4	0	0	1	0	0	7	4	4	1	0	0
小 計	240	52	50	212	56	54	203	64	58	195	67	73
老人クラブ代表	/	49	40	/	46	40	/	48	39	/	45	43
祝い年重複者	/	6	6	/	5	5	/	5	5	/	4	4
合 計	240	95	84	212	97	89	203	107	92	195	108	112

来賓27名 案内

参加割合	全体	21%	全体	25%	全体	29%	全体	37%
当日参加者/該当者	喜寿	19%	喜寿	22%	喜寿	42%	喜寿	42%
	傘寿	30%	傘寿	32%	傘寿	28%	傘寿	43%
	米寿	24%	米寿	25%	米寿	28%	米寿	36%
	卒寿	11%	卒寿	24%	卒寿	12%	卒寿	15%
	白寿	11%	白寿	17%	白寿	0%	白寿	56%
	百賀	0%	百賀	0%	百賀	57%	百賀	0%

イ 福祉のつどいの開催

「ふれあいの輪をひろげよう」をテーマに、ボランティアグループをはじめ多機関の協力により、多世代が交流できる場の提供と福祉情報の発信を行った。今年度は、「福祉のお仕事相談」、「介護ロボット体験」、「パラスポーツ体験」、「移動ふれあい動物園」、「健康チェック」、「カフェコーナー」などを通して、福祉への関心を深める機会とした。

参加者 約 165 人

令和 5 年 11 月 19 日開催

#### ウ 松野町戦没者追悼式の開催

松野町、松野町遺族会との共催による戦没者追悼式開催した。

参加者 約 40 名

令和 6 年 3 月 15 日開催 費用：42,396 円（献花代等）

#### エ 少年の日を祝う会への助成

松野中学校と相談し、中学 2 年生を対象の少年の日を祝う会にて、記念品等を贈り、その開催を支援した。

助成費用 30,000 円（記念品代）

## 2 地域福祉推進事業（総事業費 18,566,289 円）

### 2-1 地域福祉推進事業

#### (1) 第 2 期松野町地域福祉活動計画の推進

令和 5 年度の推進会は、町内 10 地区合同で開催した。

活動計画に基づいた地域活動を進めてきた中で、「災害への備え」が町全体の課題として挙がっていることから、今回の推進会は、現在取り組んでいる地域活動や地域のつながりを再認識し、日頃の活動と災害時の備えとのつながりについて考え、今後の活動をさらに広げていくために協議をした。

推進委員会には、中学校生徒会も参加し、福祉学習で取り組んだ「防災・減災イベント」の報告をしてもらい、推進委員にも知ってもらう機会とした。

地区福祉活動計画推進委員会の開催 1 回/全体会

事業費 地区福祉活動助成金 30,000 円×10 地区=300,000 円

#### (2) ボランティア活動の推進

・松野町福祉ボランティアグループや日赤奉仕団と協働して、「防災・減災イベント」の開催、通学路の清掃活動、子育て世帯への支援活動、広報誌の音訳、読み聞かせ等のボランティア活動を支援した。

・活動の幅が広がるよう、ボランティアとの意見交換を行った。

・日赤奉仕団との交流を兼ね、日本赤十字社愛媛県支部にて防災研修をし、平時の取り組みと、ボランティア活動への活かし方について意識を高めた。

・ボランティア活動保険への加入

誰もが安心してボランティア活動に参加できるよう、社協を拠点とした福祉ボランティア活動者全員に対応できる保険に加入した。

加入者数 50 名 17,500 円（一人 350 円）

#### (3) ボランティアグループの支援

##### ア 福祉ボランティアグループの支援

・総会の開催 令和 5 年 4 月 27 日

・朗読ボランティア活動

- ・広報まつの等を年 12 回録音しテープを貸出した。利用者 2 名
- ・読み聞かせの実施  
(学童保育夏休み・春休み、西小毎月第 1 金曜日、東小毎月第 1 月曜日)
- ・折り紙ボランティア活動  
町内の小中学校へ折り紙や壁面かざりを届けたり、虹の森まつの保育園にて折り紙教室を開催し、世代間交流を行った。活動回数 14 回
- ・通学路清掃活動 西小校区 2 回
- ・防災・減災イベントの共催
- ・松野中学校生徒会 まちおこプロジェクトへの参加
- ・生徒会企画による町内の清掃活動、人権などをテーマとしての活動を通し世代間交流に参加した。
- ・日本赤十字社愛媛県支部での防災研修会（日赤奉仕団と協働）

#### イ 日赤奉仕団の支援

- ・総会の開催 令和 5 年 4 月 20 日
- ・赤十字手つなぎボランティア（東小学校） 令和 5 年 5 月 29 日  
内容 通学路清掃、ファミリーゲーム  
青少年赤十字メンバー 29 名、教職員 10 名、奉仕団参加 6 名  
学校支援ボランティア 2 名
- ・「防災・減災イベント」の共催
- ・赤十字ぬくもり子育て広場の開催 令和 5 年 11 月 28 日  
内容 子どもの薬の使い方、幼児安全法  
講師 松山赤十字病院・日本赤十字社愛媛県支部  
子育て支援グループ「つくしんぼ」親子及び奉仕団参加 2 名
- ・福祉ボランティアグループとの交流を兼ね、日本赤十字社愛媛県支部にて防災研修をし、平時の取り組みと、ボランティア活動への活かし方について意識を高めた。

#### (4) ふれあい郵便の実施

一人暮らしの高齢者並びに介護保険利用者へハガキを年 2 回郵送し、安否確認を行い、地域の見守り活動を推進した。

ふれあい郵便配達数	年賀状	493 名	
	調査	364 名	合計 857 名

#### (5) 生きがい活動支援通所事業の実施

在宅で生活する 65 歳以上の高齢者を対象に、班ごとに月 1 回程度の寄り合いを持ち、要介護状態への予防を図れるよう、自立的生活と生きがいや社会参加を促進できるよう、健康講座や趣味の創作活動を支援した。

参加者の体力等を考慮し、夏季・冬季は休止する対応をとったが、休止時は個別に電話で体調等の聞き取りや訪問を行い、脳トレや体操のプリントを郵

送した。

参加者が減少していることもあり、今後の開催方法等について保健福祉課と地域包括支援センターと検討した。

スタッフ 職員 2名

(正規職員1名、パート職員1名)

地区 5班(松丸 目黒、西の川 吉野1、吉野2)

利用者 42名

参加費 1回100円 事務費等

(6) ふれあい・いきいきサロンの拡充

地域で孤立する人をなくすため、高齢者や障害者、子育て中の親子などが、気軽に集い、地域の人々とのふれあいの場として、また情報交換の拠点として、楽しく参加しやすい活動を地域住民が運営できるよう支援し、心身の健康を保ち、生きがいを推進した。新規サロンとして、障害児の家族を対象としたサロンができた。

グループ名	実施回数	参加者
菘の会(延野々五郎丸)	12回	11名
脱線グループ(豊岡後)	12回	7名
なでしこ(豊岡前)	12回	15名
あじさい(富岡地吉)	12回	10名
ミナクル会(富岡古市場)	12回	6名
パワーズ(吉野)	52回	10名
コスモスの会(蕨生)	10回	14名
にこにこ会(蕨生谷口)	10回	4名
陽だまり会(蕨生奥内)	12回	8名
むくの会(奥野川)	11回	16名
いろどり(町内)	8回	6名
合計	143回	117名

(7) 生活支援体制整備事業(町受託事業) 事業費: 3,230,835円

介護保険事業の地域支援事業における生活支援体制整備事業生活支援コーディネーター業務を、平成28年8月から松野町との契約により実施。

- ・毎日体操「未来貯筋体操」周知のための活動

住民の健康づくり、地域の見守りネットワークづくりのため、理学療法士、地域おこし協力隊と連携し作った体操を、周知のための動画を作り、サロンや老人クラブ等の集まりで周知した。

- ・地域資源開発検討

ネットワーク会議等を活用し、専門職より必要な地域資源について検討した。

## (8) 福祉教育への取り組み

ふだんの暮らしをシェアしあわせにするという視点で福祉を身近に感じ、みんなと一緒に幸せに暮らしていくために必要なことや出来ることを考えるきっかけづくりとして、学校との協働で福祉教育に取り組んだ。

### ・福祉教育の実施

松野中学校 2 年生

防災・減災をテーマに、福祉ボランティアグループと協力し、防災・減災イベントの準備を行う中で、地域の活動や課題、地域の人を知り、自分たちができることを考え、行動した。授業外でも、イベントのスタッフとしてボランティア活動につながった。

東小学校 3・4 年生

高齢者の理解と認知症をテーマに、地域包括支援センターと協働で実施した。

地域の高齢者やボランティアに授業へ参加してもらい、町のいいところ探しや住みやすい町について意見交換をした。

### ・地域福祉活動計画推進委員会を通しての地域への福祉教育

推進委員会に中学生が参加してもらうことで、地域のことについて対話を通じて多世代で協議し、目指す地域像について考える機会とした。

## 2-2 福祉相談・援助活動の推進

### (1) 心配ごと相談所事業の実施（町受託事業） 事業費：122,000 円

・相談員（民生児童委員 18 名）を中心に、毎月 1 回、社協にて心配ごと相談所を開設し、あらゆる悩みごとに対し気軽に相談に応じ、相談者の精神的な負担軽減できるよう、傾聴、助言、関係機関につなぐなど相談支援活動に努めた。

相談件数 0 件

・年 3 回弁護士による専門的立場からの指導並びに助言を仰いだ。

相談件数 8 件 [ 相続、債務、子の所在、土地等の名義変更、職場トラブル、離婚手続きと財産関係 ]

### (2) 福祉サービス利用援助事業の実施（県社協受託事業） 受託金：536,000 円

認知症や障害者など判断能力に不安、または不十分な方が、できる限り地域で安心して、自立した生活が送れるよう、福祉サービスの利用にあたり、本人との契約により下記の援助を行った。

・福祉サービスの利用契約における援助

・情報提供、相談、助言

・日常的金銭管理、書類等預かりサービス

利用者 7 名 相談件数 959 件 (930 件)

生活支援員 3 名

利用料 26,000 円 (1 回 1 時間程度 単価 1,000 円 生活保護者は無料)

(3) 法人成年後見人の実施

法人後見受任者 2名

成年後見制度利用促進事業により、宇和島地域（1市3町）による権利擁護センター・自治体・社協と連携を図り、相談会の開催、課題の共有や協議を行った。

福祉サービス利用援助事業から本制度への利用者2名であり、継続した支援につなげることができた。

(4) 生活困窮者自立支援事業（県受託事業） 受託金：4,000,000円

家計改善支援事業（県受託事業） 受託金：1,855,000円

愛媛県からの受託により、「くらしの相談支援室」を開設し、生活困窮者が抱える多様で複合的な課題の解決に向け、総合的な相談を受け付け、関係機関との連携により、情報提供や必要な支援を行うと共に、プランの作成を行い、一体的、かつ計画的な支援に努めた。

また、家計の収支の均衡がとれていないなど、家計に課題を抱える生活困窮者からの相談に応じる家計改善支援事業も併せて実施した。

定例会・研修会を開催し、地方局、ハローワーク、eワーク愛媛、役場各課、民生児童委員より、23名の参加があった。研修会では、山梨県立大学の高木博之氏を講師として、生活困窮者自立支援制度の理解、困りごとを抱えている人をどのように理解するのか、困窮者と自分との接点など、それぞれの立場において本事業に関わる意義について講義を行った。

- ・新規相談受付件数 14件（11件）
- ・プラン作成件数 2件（2件）

(5) 生活福祉資金貸付事業（県社協受託事業）

（愛媛県社協の委託事業 受託費 520,690円、相談体制整備 473,300円）

低所得世帯等を対象とした貸付金制度である生活福祉資金において、民生児童委員の協力により相談受付及び貸付事務を行うとともに、償還事務を実施した。

新型コロナウイルス感染症の発生による休業や失業により、一時的又は継続的に収入が減少した世帯を対象として、特例貸付を行った。

令和5年度				
	福祉資金 (緊急小口含む)	教育資金	合計	備考
貸付件数	2件	0件	2件(8件)	
貸付金額	134,000円	0円	134,000円	

のべ相談件数 52件(80件)

## (6) 小口資金貸付事業

緊急または不時の出費を要する場合に、生活困窮者の自立を支援するため、民生委員と連携して相談支援及び小口資金の貸付けを行った。

- ・令和 5 年度貸付件数 8 件 (11 件)
- ・令和 5 年度末貸付高 286,000 円
- ・預金額 214,001 円 (内預金利息 1 円)
- ・原資 500,000 円

## 2-3 共同募金運動等の推進

### (1) 共同募金運動の推進

本年度募金目標額 715,000 円を設定、各部落区長、組長、民生児童委員協議会、各種団体と住民の皆様の理解と協力により、下記の実績をおさめることができた。

共同募金目標額	715,000 円
共同募金実績額	690,669 円
目標達成率	96.6%

### (2) 共同募金配分金事業 (4 年度募金による 5 年度配分事業充当) の実施

共同募金配分金事業 775,805 円

ア 一般募金配分金事業の実施 事業費：525,805 円

○ふれあい・いきいきサロンへの助成

サロン活動助成金 206,000 円 (11 グループ)

○中学校卒業記念品の図書カードを通して学習支援 (卒業生 18 名)

費用 48,000 円

○小学校入学記念品の学童傘贈呈による登下校の安全支援

(新入生 25 名) 費用 41,558 円

○町内の集会所に設置されている遊具を専門業者に依頼し一斉点検を行い、児童の環境の支援を行った。

点検箇所 10 箇所

(礁崎児童公園、向井公園、向井集会所公園、延野々集会所公園、隣保館公園、豊岡後集会所公園、豊岡前住宅集会所公園、梁瀬集会所公園、伊井公園、逆杖公園)

調査費 55,000 円

○ボランティア活動推進のため福祉ボランティアグループへの助成

補助金 38,000 円

○防災・減災イベント、地域食堂への助成、住民活動の支援等を行った。

費用 137,247 円

イ 歳末たすけあい運動の実施 事業費：250,000 円

令和 5 年度においても「つながり ささえあう みんなの地域づくり」

をスローガンに、歳末たすけあい運動を各部落区長・組長の支援を受けて実施した。この運動に対し、住民の皆様の温かい協力により、281,200円の善意が寄せられ、全ての義援金を福祉施設入所者20名と、町内在住者166名へ贈った。

なお、町内在住者の義援金配布においては、地区担当民生委員の協力により、見守りを兼ねて実施した。

※事業費と募金額の差額31,200円は次年度一般募金配分金に充当予定。

### (3) 日本赤十字社 活動資金募金

日赤県支部との目標額547,800円を設定、活動資金募金運動を展開した結果、住民の皆様の理解と各部落の区長、組長の協力により、下記の実績をおさめ、日本赤十字事業の支援が行えた。

活動資金募金目標額	547,800円	
活動資金募金実績額	572,500円	目標達成率 104.5%

## 2-4 福祉団体事務

### (1) 松野町老人クラブ連合会への自立支援

松野町老人クラブ連合会の事務局として、理事会等の開催、会計処理等を行いその活動を支援した。

#### ア 会議開催の支援

・理事会	開催回数	3回
・総会	開催回数	1回

#### イ 各種大会等の引率

- ・県老人クラブ大会
- ・県老人クラブスポーツ大会（中止）
- ・ねんりんピックへの協力（歌う森のふくろう、マラソン競技）

#### ウ 軽スポーツの普及支援

- ・クロッケー大会
- ・ペタンク大会

#### エ 単位老人クラブの活動支援

- ・総会の資料作成支援

### (2) 松野町身体障害者福祉協議会への自立支援

松野町身体障害者福祉協議会の事務局として、役員会の開催、会計処理等を行いその活動を支援した。

#### ア 会議開催の支援

・役員会	開催回数	1回
・総会	開催回数	1回

- イ 各種大会等の引率
  - ・ 県障害者福祉推進大会
  - ・ リーダー養成研修
  - ・ 県身障連市町団体代表者会議
- ウ 運営費の助成 26,400 円

(3) 松野町遺族会への自立支援

松野町遺族会の事務局として、役員会等の開催、会計処理等を行いその活動を支援した。

- ア 会議開催の支援
  - ・ 役員会 開催回数 1 回
- イ 松野町戦没者追悼式の開催
- ウ 運営費の助成 26,400 円

(4) 松野町母子寡婦福祉協議会への支援

運営費の助成 16,000 円

## 2-5 訪問型サービス事業

(1) 訪問型サービス事業 事業費：3,913,947 円

行政との協議により、松野町から受託で、令和3年8月より町内に在住する要支援1, 2の方を対象として生活援助サービスを開始した。

利用者が、要介護状態となることの予防、要支援状態の軽減または悪化を防止し、住み慣れた自宅で自立した日常生活を営むため、松野町事業実施要綱に基づき、掃除や調理、ゴミ出しなどの軽微な家事援助など生活援助に限定したサービスを実施。

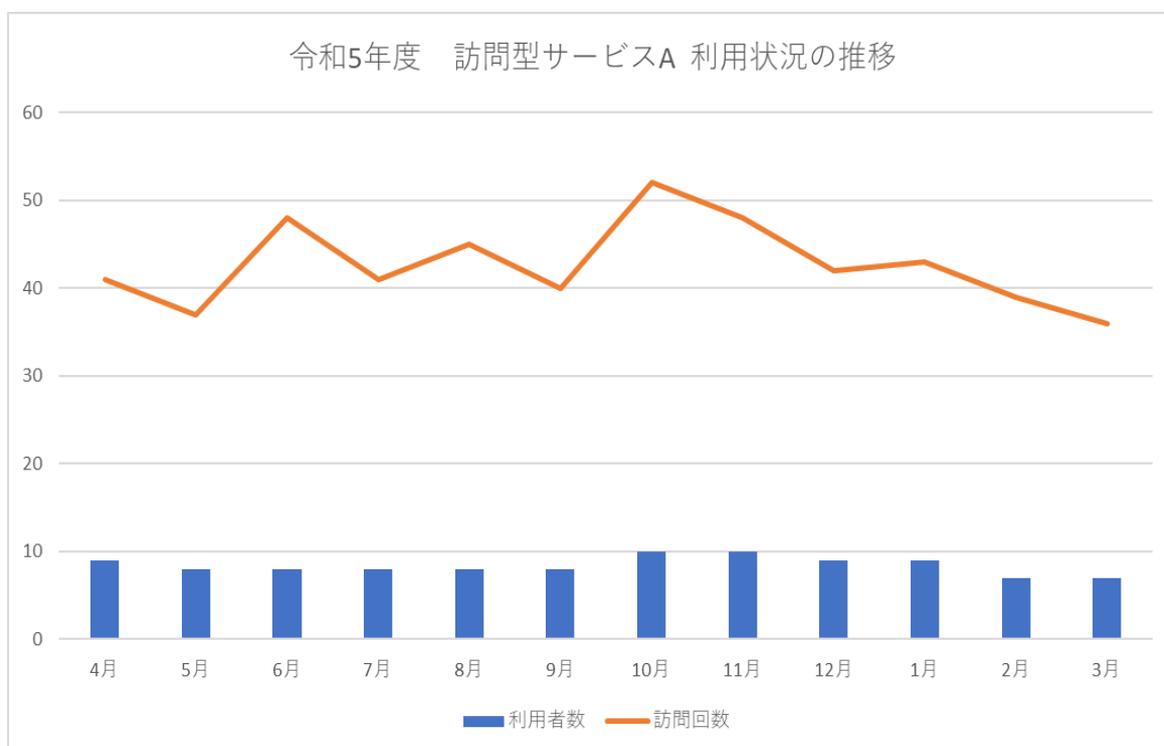
なお、身体介護が必要な利用者など、従来の訪問介護サービスを必要とする利用者については、ケアマネージャーのケアプランにより、事業所と利用者が契約の上、これまでどおり訪問介護サービスが利用できるよう調整をしている。

実施体制 管理者1名 サービス提供者2名

利用料 2,000 円/回（委託料 1,800 円+利用者負担金 200 円）

### 令和5年度利用状況の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	9	8	8	8	8	8	10	10	9	9	7	7	101
訪問回数	41	37	48	41	45	40	52	48	42	43	39	36	512



### 3 在宅福祉サービス事業 (総事業費 23,809,100 円)

#### 3-1 居宅介護支援事業

指定居宅介護支援事業所として、介護保険利用者の居宅介護支援計画の作成やサービス担当者会議の開催(円滑な支援のための事業者と利用者、介護者家族間の連絡調整)、及び訪問相談支援活動を行い、24時間連絡相談体制を整備するなど、利用者が健全で安らかな在宅生活を送れるよう、また、家族の介護負担の軽減を図れるよう努めた。

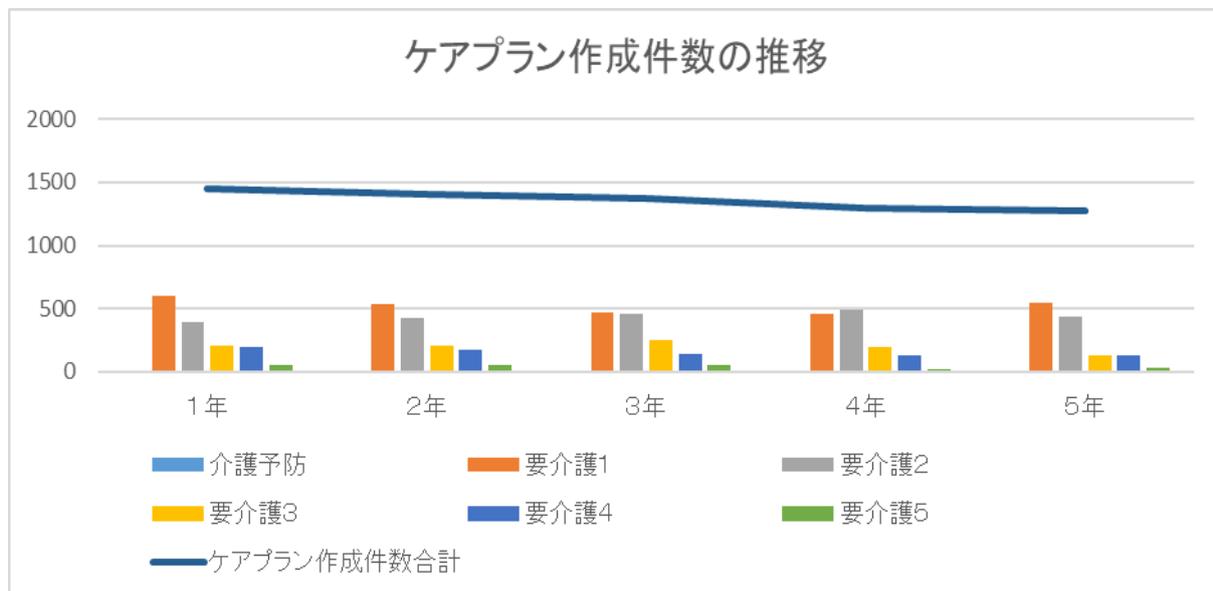
また、利用者世帯への相談助言活動を通じて、対象世帯の抱える課題を解決するため、地域、施設等をつなぐパイプ役として、地域包括支援センター、医師、理学療法士、保健師、民生委員、本会の地域福祉部門等との連携により、地域福祉の向上に努めた。

本町では、人口減少と同時に高齢者人口も減少している。身内に介護者する人がいない方など、在宅サービスのみで日常生活を支えることが困難な方が増加している。在宅福祉サービスを対象とした居宅介護支援計画を作成する本事業の契約者減に伴い、事業収支、専門職の確保の両面で非常に厳しい経営環境が続いている。

当期活動増減差額 ▲1,139,225 円 次期繰越活動増減差額 11,947,975 円

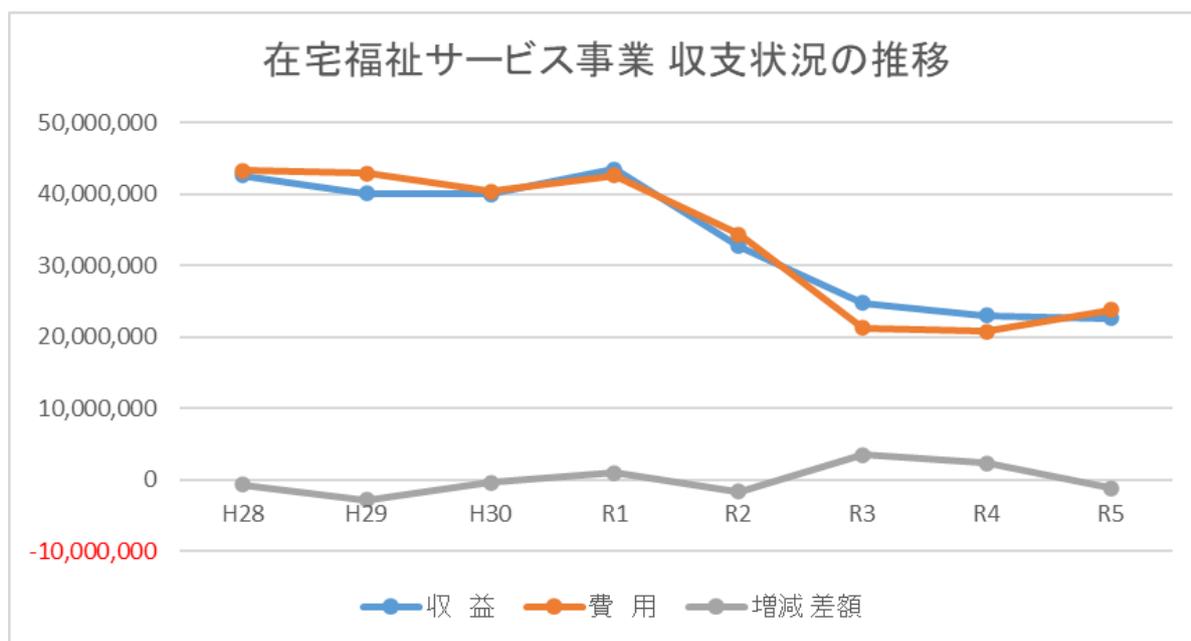
#### ケアプラン作成件数の年度推移

年度/認定区分	1年	2年	3年	4年	5年
介護予防	0	0	0	0	0
要介護1	597	534	471	461	545
要介護2	396	427	455	489	440
要介護3	203	212	250	197	132
要介護4	201	178	146	133	130
要介護5	54	55	53	18	30
ケアプラン作成件数合計	1,451	1,406	1,375	1,298	1,277



## 事業収支の年度推移

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
収 益	42,680,631	40,141,213	40,039,960	43,564,284	32,767,592	24,728,799	23,057,364	22,669,875
費 用	43,322,522	42,930,733	40,425,539	42,647,967	34,395,712	21,262,615	20,761,342	23,809,100
増減差額	▲ 641,891	▲ 2,789,520	▲ 385,579	916,317	▲ 1,628,120	3,466,184	2,296,022	▲ 1,139,225



#### 4 まごころ銀行運営事業（総事業費 1,316,083 円）

町民の方の善意の寄付金を受付管理し、その健全な運営管理に努めた。

まごころ銀行助成金交付要領にもとづき、町内団体から申し込みのあった3事業に対し、理事会で審査し、助成金を交付することで住民活動の支援につなげた。

また、本会の地域福祉活動や介護保険事業に活用させていただくと共に、新たに、地区福祉活動計画のバックアップ、子育て世代の支援を行った。

令和5年度 寄付金	1,060,000 円 42 件
寄付金総額（前年度末総額）	25,459,118 円（25,715,135 円）
	（▲256,017 円 対前年度比）

#### 寄付申込書における使途希望状況

使途目的	金額	件数	割合(金額比)	割合(件数比)
地域福祉事業のために使ってください	280,000円	11	26%	26%
介護保険事業のために使ってください	200,000円	8	19%	19%
法人に一任します	550,000円	22	52%	52%
その他	30,000円	1	3%	2%
計	1,060,000円	42	100%	100%

#### 活用状況

活用内容	対象	金額
まごころ銀行助成金交付事業 （公募）	歌う森のふくろう	40,803円
	朗読ボランティア虹	40,000円
	宇和島鉄道開通100周年記念事業実行委員会	200,000円
地区福祉活動助成金	10地区福祉活動推進委員会	300,000円
結婚・出産祝い金	8世帯(結婚1件、出産7件)	80,000円
	準備費用(祝い品ストック2組分、購入手数料)	25,280円
指定寄付	1件(古城園)	30,000円
本会の事業で活用	生活困窮者自立支援事業	205,000円
	家計改善支援事業	97,000円
	居宅介護支援事業	298,000円
活用合計		1,316,083円